● スポーツフェスタよさの 2026

親子で楽しむスポーツの秋



フライングディスクに挑戦する子ども

10/18　秋晴れのもと、大江山公園グラウンドで「スポーツフェスタよさの 2026」（主催・与謝野町スポーツ協会）が開催され、親子連れを中心に約 40 人が参加しました。

参加者は、けん玉やスポーツわなげなど５種目の軽スポーツに挑戦する「スポーツ番付」に参加し、合計得点を競いました。参加した方からは「久しぶりに子どもと一緒に汗を流すことができた」との声も聞かれ、親子で一緒にスポーツを楽しみ、触れ合いを深める１日となりました。

● 丹後くらしフェスタ

食べて、遊んで、秋の１日を満喫



紙ひこうきチャレンジに参加する子どもたち

10/12　３連休の最終日、野田川わーくぱるにおいて「丹後くらしフェスタ」が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

会場にはキッチンカーが出店したほか、おたのしみ縁日やフリーマーケット、ヨガ体験など、多彩な企画が登場。中でも紙ひこうきチャレンジでは、子どもたちが景品を目指して紙ひこうきを飛ばし、その飛距離を競い合い盛り上がりを見せました。来場者は、食べて、遊んで、買い物を楽しみながら、秋のひとときを過ごしていました。

● がりゃ～祭

子どもたちに楽しい思い出を



輪投げを楽しむ子どもたち

10/11　今回で４回目となる「がりゃ～祭」（主催・THE 加悦谷渦製作所）が加悦双峰公園で開催され、多くの親子連れが訪れました。

「子どもたちに楽しい思い出をつくってもらいたい」との思いから開催されている本イベント。会場では、鬼の埋蔵金探しやビンゴ大会、輪投げなどのゲーム、ワークショップなど、子ども向けの企画が盛りだくさん。子どもたちはさまざまな遊びや体験を楽しみ、会場はたくさんの笑顔であふれていました。

● 第４回 みんなの「わ」つながるフェスタ

みんなの理解で広がるつながりのわ



会場を埋め尽くす来場者でにぎわう

10/3　社会福祉法人よさのうみ福祉会が主催する「第４回みんな「わ」つながるフェスタ」が野田川わーくぱるで開催され、多くの来場者でにぎわいました。

同福祉会の福祉事業所の物販・飲食、体験などの模擬店やキッチンカーが並んだほか、こども園やキッズダンススクール、吹奏楽演奏などのステージ発表も行われ、イベントを盛り上げました。催しを通して福祉への理解を深め、世代や立場を超えた交流が生まれる機会となりました。

● バスまるごと体験フェア in よさの

バスの魅力をまるごと体験！



「路線バス乗り方教室」に参加した親子たち

10/25　バスの魅力を楽しむ「バスまるごと体験フェア in よさの」が野田川わーくぱるで開催され、多くの親子でにぎわいました。

「見て・ふれて・体験して」をテーマに開催されたイベント。会場では、バスの運転体験や路線バスの乗り方教室のほか、丹海バスの車庫見学ツアーも行われるなど、普段はできない体験が盛りだくさん。また、子ども向けの工作やクイズ、オリジナルバスのコンテストなども企画され、バスを身近に感じる機会となりました。

● きものでぶらり♪ちりめん街道

風情ある町並みで楽しむ秋のひととき



着物姿の来場者でにぎわう

10/18　秋の恒例イベント「きものでぶらり♪ちりめん街道」が開催され、街道市や体験企画など多彩な催しが行われました。

街道市には飲食やハンドメイド雑貨などの店が並び、旧尾藤家住宅ではお茶席が設けられました。また、加悦鉄道資料館では鉄道模型の展示運転や昔の駅員体験が行われるなど、訪れた人たちは、買い物や体験を楽しみながら、丹後ちりめんで栄えたまちの歴史や文化に親しみ、ちりめん街道ならではの魅力を満喫していました。

● 与謝野町地域安全パレード

地域の安心・安全を願って



阿蘇シーサイドパーク内を歩くパレードの隊列

10/11　地域の防犯意識を高める「地域安全パレード」（主催・与謝野町防犯推進協議会）が、役場本庁舎から阿蘇シーサイドパークまでの区間で行われました。

パレード後、阿蘇シーサイドパークでは、京都府警察音楽隊による演奏やカラーガード隊の演技が披露されたほか、警察犬の紹介や警察車両の展示、平安騎馬隊による乗馬体験などが行われました。訪れた方たちはさまざまな催しを通じて、地域の安全について考えてる機会となりました。

● 第 42 回日中悠久平和祈願祭

不戦と恒久平和への思いを新たに



あいさつを述べる方副総領事

10/11　道の駅シルクのまちかや内の友好之碑周辺で、京都府日本中国友好協会による「日中悠久平和祈願祭」が開催されました。

祈願祭では、太平洋戦争中、大江山ニッケル鉱山に強制連行され、過酷な労働の末に命を落とした中国人青年12人の御霊に祈りをささげました。参列者は、中華人民共和国駐大阪総領事館方煒（ファンウェイ）副総領事の「戦争の悲劇を繰り返してはいけない。両国の友好を願います」との言葉を胸に、不戦と恒久平和への思いを新たにしました。